

Minami Kyushu Junior College Syllabus

| | | | | | | | | |
|---------------|--|------|-----|----------|---------------------------------|--|--|--|
| 科目名称 | 民法 I | | | | | 英語コミュニケーション 留学 ビジネス・キャリア ホテル・観光 オフィス情報 医療事務・医療秘書 スポーツ健康 大学編入 グローバル | | |
| 英文科目名称 | Civil Law I | | | | | () () (○) (○) (○) (○) (○) (○) (○) () | | |
| 科目コード | 531721 | 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 | | | |
| 教員氏名 | 高山 康男 | 年次配当 | 2年次 | 前期 | | (○) (○) () | | |
| 授業概要及び授業方法 | <p>民法(広義の民法)とは、現行民法典(狭義の民法)と戸籍法などその他の民事法を合わせたものである。民法 I では、現行民法典(総則、物権、債権、親族、相続の五編)の総則編と物権編を中心に授業を行う。</p> <p>授業は「例題のプリントを配布する(1回の授業で4~5題)。まず学生に考えさせ選択肢の答えを選ばせる。そして板書と資料を使って解説する」という方法で行う。</p> | | | | | | | |
| 関連する科目 | 憲法、法律学、民法 II、商法・会社法 | | | 学習成果との関係 | ① ③ ⑥ | | | |
| 授業計画 | <ol style="list-style-type: none"> 民法総則(民法第1条~第21条、権利能力など) 民法総則(民法第22条~第32条、同時死亡の推定など) 民法総則(民法第33条~第37条、法人など) 民法総則(民法第85条~第98条、物など) 民法総則(民法第99条~第118条、代理など) 民法総則(民法第119条~第126条、無効及び取消しなど) 民法総則(民法第127条~第143条、条件及び期限など) 民法総則(民法第144条~第161条、時効) 民法総則(民法第162条~第174条、時効) 民法物権(民法第175条~第207条、占有権など) 民法物権(民法第209条~第238条、相隣関係) 民法物権(民法第239条~第269条、共有など) 民法物権(民法第270条~第294条、地役権など) 民法物権(民法第295条~第341条、先取特権など) 民法物権(民法第342条~第398条、抵当権など) | | | | | | | |
| 授業時間外の学習 | 配布プリントの熟読、法律用語及び重要判例の学習など(学習に係る標準時間は週約2時間)。 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 | <p>法学検定基礎コースに合格する(受験は任意)。</p> <p>法学検定合格を目指し、自ら考え自分の言葉で表現できる能力を磨く。</p> | | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 小テストの採点結果の返却及び解説は翌週の授業で行う。 | | | 評価方法 | 定期試験(90点)、小テスト及び授業への積極的参加度(10点) | | | |
| テキスト | 必要に応じて資料を配布する。 | | | | | | | |
| 参考書 | 使用しない。 | | | | | | | |
| 備考 | 特になし | | | | | | | |